

# 意見交換会概要

日時	平成25年 6月 21日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 30
場所	青谷地区公民館 (子育てサークル ぶるーべりー)
参加者数	約10人
出席者	校区審議室 (神谷、小谷、清水)

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	先日、青谷地区座談会に参加したが、単独存続の声が多かった。選択肢について情報が少なく単独、統合ともどちらがいいとは決められない。子供の安全面が親にとっては大事なこと。もし、統合を検討するにしても、通学についての情報が分からないのは不安である。遠方からの通学となれば費用も大きくなる。交通の便、通学の安全面を保証した状態での検討でなければ前向きに考えることは難しいのでは。
参加者 B	通学方法でスクールバスを運行するなら、中学校の統合も賛成との意見は多い。通学方法がハッキリしないうちは保留との意見もある。
参加者 A	通学費用についての補助があるのかもハッキリしない。交通費も家庭にとっては負担となる。それが2人目、3人目となったらお金もばかにならないが、分からないし心配である。
参加者 C	地域の方は残してほしいという意見が多いんですか。
参加者 A	青谷地区座談会の話聞いた限りでは、年配や地域の方は単独存続で学校を残してほしいという意見が大半で、子供の声が聞こえないのはさみしい、地域で子供を育てたいとこのこと。少人数になっても十分な教育はできるし、大きい規模にこだわる必要がないとのことだった。
参加者 B	子育てを終えた人と、今現在、子育てをしている人の意見は違ってくる思う。今時点の自分の思い、自分の住む地域の将来については考える事は出来ても、今の子供、これから生まれてくるであろう子の将来については考えが及んでいない。
参加者 D	自分は大きい規模の学校で育ってきた。期待される効果など、まさにこの資料に書いてあるとおり。地域の方は自分の思いで話されるけど、親としては多くの友達の中で人間関係を作り上げてほしい。青谷中学校は今でも部活動は少なくなっているというのに、今後は出来なくなることも考えられる。それでは子供は育たない。統合はいいと思う。
参加者 C	私の生まれた地域は小学校1校、中学校1校というところで育った。当時、小学校はスクールバス、中学校は路線バスを通学手段としていたが、民間事業者は利益優先であるため、過疎化の進む地域では路線バスがやがて廃止された。夏場は自転車等も使えたが、冬場は小学校のスクールバスに便乗させてもらっていた事を思い出す。自治体や学校がお願いしても路線バスは復活せず、不便な思いをしていた。個人的には単独校として残してほしいが、子供のことを考えるとそれが正しいことなのか分からない。

## 意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 C	<p>中学校の統合を、公共交通機関の利用を念頭に考えているなら危険なこと。JRも本数が減っているし、人口減が進むと一層本数は減る。高校の時も通学面で公共交通機関を利用していたが時間の融通がきかず、始業一時間前に学校で時間をつぶしたり、部活後にも列車がなかったため一時間近く時間をつぶしたこともある。駅前であまり素行の悪さも出てきたりする。部活の時間に合わせてスクールバスを出したり、夏休みには特別ダイヤを組むなど対応していただくとありがたい。ここがハッキリしないと話が進展しないと思う。重点的に検討してもらってから、再度説明を受けたい。</p>
参加者 A	<p>最初から少人数編成のクラスを組んだり、グループ単位で学習したりといった新たな発想の提案も聞きたい。今は35人クラスだというのが、20名クラスにするとときめ細やかな指導も出来ると思う。</p>
参加者 C	<p>昔、北条町、羽合町、泊村で統合して北溟中学校は出来たと聞いている。市町村合併前に北溟中学校は分かれたとも聞いている。統合した前と後ではどんな違いがあったのか、どう変わったのかを知りたい。そういった資料は持っているか。</p>
参加者 C	<p>統合した学校の保護者の方、当事者の子供達、地域の方の意見を調べていただくことは出来ないか。校区審議会でやってほしい。統合した地域の声が聞ければ不安も取り除かれ、意見も変わるかも。</p>
参加者 D	<p>規模が大きくなると学校が荒れるという話は聞いたことがある。人間の数も多くなるので、人間関係も複雑化するため統制が利かなくなることもあるだろうが、子供の成長のためには仕方ないこと。</p>
参加者 C	<p>ネットで見したが、関西では学校の統合に反対して子供が自殺した事件がこの春あった。当事者である子供の意見は大切であるから、小中学生に対し意見を聞いていただきたい。親には親目線、子には子目線というものがあり、子供の真意は分からない。小学校ではクラブに入っているが、中学校に入ったら部活がないため市内のクラブチームに通っている子もいるし、今の環境に満足している子もいると思う。大人だけの意見で決めるのではなく、子供の意見を聞いてほしい。親としては子供が満足できる学校づくり念頭に考えてほしいとの思いがある。重ねてお願いしたい。</p>
参加者 A	<p>(小中一貫校である市立湖南学園の) 実際にこの目で小中一貫校が見学できるのはありがたい。聞くものと見るものでは情報量が違う。</p>
参加者 E	<p>中学校生活は青春そのもの。勉強より部活が楽しかったり、部活で生活に張りがあったり一生懸命に取り組んだし、恋愛もあった。小中一貫校に関心もあるが、縦のつながりはできても横の広がりには期待できないという。部活にしろ恋愛にしろ、新しい出会いも生まれないのでは。</p>
参加者 D	<p>子供の部活が充実出来ないのは可哀そう。自分の時は部活もいろいろ選べたし、部活を通じて人間関係を育むことが出来た。ある意味、勉強より熱中し、充実した学校生活を送ることが出来たと言える。</p>
参加者 B	<p>中学校の統合がないのなら付属中に通わせるとか、今度できる中高一貫校(鶏鳴学園)や湯梨浜学園に通わせると話す親も何人もいる。もし単独として残しても、将来予測された子供数が青谷中学校に行くとは限らない。青谷に住んでいようとも、そういった選択肢もあるということ。自分の子の代の子供数は25人だというが、この中から何人が青谷中学校に行くことになるのか。子供の数の見直しも当然必要となるし、学校も成り立たなくなる。もちろん、みんなが他の中学に行く訳ではないとしても。</p>

## 意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 C	中学校だけではない、もちろん小学校でも付属小にもいける。青谷に住んでいても青谷の中学校を選ばないということも当然ある、そういったことも想定する必要がある。
参加者 C	自分は小中学校同じクラスメートという環境で育った。高校に進学した時、他中学から来たまわりの子供たちはすぐに溶け込み友達を作ったが、自分達は出身中学校で固まり、なかなか新しい環境になじめず友達を作ることが難しかった。他中学から来た子供たちは中学校に上がる時、友達を作ることを経験したり、友達を作る環境があったからと考えると、早いうちから交流を経験させることが必要だと思う。
参加者 D	年齢が低い時の方が、へんな意識やわだかまりはなく、すんなり友達も作れる。早くこういった環境を経験した方がいい。
参加者 A	自分の頃は青谷中も5つの小学校から集まっていた。5つの谷の子が中学校で一つになって交友関係もぱっと広がったことを思い出す。友達ともいい関係が築けたと思う。
参加者 D	地域の人たちは学校を残してほしい、子供を見なくなりさみしいというが、実際に学校に関わることはあまりない。身内にもいなければ直接の当事者でもないから、何とでも言える。この問題に係ってくるのは直接の当事者である今の小さい子供と、保護者である。今回の話を取りまとめるには、かなり難しい判断とを感じるが、どっちを重視するのだろう。
参加者 A	学校が無くなれば過疎化に拍車がかかるということは当然あると思う。同世代の人も浜村に家を新築して出ていく人も多いことも事実。学校が無くなれば今後、若い人が青谷に住まなくなるという意見もあるが、過疎化の問題は学校に限ったことではない。
参加者 E	過疎化が進んでいるということは分かる。青谷に嫁に来たが、当初は青谷に来るのは嫌だった。都会に住んでいるの時は、買い物の手軽に出来たり、医療機関も多かったり、幼稚園や保育園も選べたり。子供がちょっと大きくなったら習い事も考えるが鳥取市内まで出なければいけないなど、生活する上での選択肢の違いに愕然とした。青谷で生活する上では選択肢はない。しかし、最近では葛藤もある。同居している家族は優しくしてくれるし、近所に住んでいる方も子供を身内のようにかわいがってくれる。都会ではそういうことは全くなかった。今では青谷が嫌とは言えなくなってきた自分がある。
参加者 D	学校の問題と過疎化の問題も一緒に考えていくことも必要かもしれない。地域住民の声があるなら。
参加者 E	過疎化が進むや若い世代が出ていくと言った意見が年輩から上がるという。理由は簡単で、青谷では土地が手に入らないという現実があるから。近所に空き家があっても、耕作放棄地があっても決して売ろうとしない。地権者がつける土地の価格もあり得ない金額を吹っかけてくることもある。みんなが土地を求めているバブル時代ならまだしも、空き地や空き家となっている状態でバブル当時の価格をつける。過疎とか定住とか問題にするのに意味が分からない。青谷から出て暮らしたい人は仕方ないが、青谷に住みたい、実家の近くに土地を買って新築したい人も、土地を売らずに追い出している。なのに過疎化を問題視する年輩者の考え方はおかしい。対策ができないか。
参加者 C	アパートに住んでいるが、一緒に住み始めた人はみな浜村や湖山に出て行ってしまふ。年輩の方の意識改革やまず空き地対策も取り上げていただきたい。この会の後に出た意見は、メール等で報告させていただきたい。